

ワークショップ 1

「音」に気持ちを向けて、みんなで「音の輪」を作ってみよう

重山直子

(日本音楽療法学会認定音楽療法士)

音楽をする中で、例えば「歌、音程外したら恥ずかしいな」「リズム、ズレたらかっこ悪いな」等と、初めから「音が苦(おんがく)」の経験をする方も多いのではないのでしょうか。今回「音楽」の前の段階「音」を「楽」しむことを一緒に考えてみたいと思います。サポーターが楽しめてこそスペシャルキッズに楽しさを還元できると思っています。

ワークショップ 2

『1cup (いちかつぶ) 日記』

熊谷 真由美

(アーツプロジェクト会員/ギャラリーあしたの箱主宰)

日常の中のささやかな喜び・発見を 1cup に閉じ込めてデコレーション！
大好きなお菓子の包装紙、片方なくしたお気に入りの手袋、ラクガキ、写真、みんなで拾ったドングリ・・・日々の思い出が、そのまま積み上げたり並べたりできる楽しいオブジェになります。

ワークショップ 3

スペシャルキッズも一緒にみんなであそぼ！

齊藤 有紀

(といぼけっと/関西グッド・トイ委員会/おもちゃコンサルタントマスター)

こんにちは！私は普段いろいろな子ども達にあそびとおもちゃを届ける活動をしています。今回はみんなで一緒に楽しめる簡単なあそびや楽しおもちゃを用意して待っています！一緒に楽しんで、あそびのポケットを増やしてくださいね♪

ワークショップ 4

マンガで遊ぼ！

いわみ せいじ (漫画家)

谷均史 (淀川キリスト教病院 医師)

参加いただくみなさんには、童心に戻って絵を書いてもらいます。
絵を書くことを通じて、子ども達の気持ちをかんじてみましょう。

ワークショップ 5

スペシャルな子ども達と遊びと学びを深めるために必要な『安心の場』の作り方。

澤田 智茂 (リレーションアドバイザー/Pulsate パルセイト)

羽山 小枝 (Pulsate パルセイト)

子ども達が遊びや学びを深めるために我々サポーターに必要なことは何でしょうか？遊びの技術？上手く話せること？いいえ。一番大切なことは一人ひとりが『安心』出来る雰囲気を生み出すことです。どれだけ沢山の遊びを知っていても、どれだけ上手にしゃべれてもそこに『安心の雰囲気』を生み出せなければ人と人の関わりは深まりません。ここでは実際に遊びの体験を通して互いに楽しみながら『場作り』のコツを学びます。

ワークショップ 6

付箋を使ってイラストをつくってみよう！

木村 智博、岡田 大貴

(宝塚大学造形芸術学部イラストレーション研究室)

絵やイラストを描くのは難しいと感じている方も多いのではないのでしょうか。どこにでもある付箋を使い、ドット絵のように付箋をはりながらイラストや模様をつくっていきます。みんなでワイワイと楽しみながらできるワークショップです。

ワークショップ 7

『カラフルプレートのキャンドル作り体験♪』

青木 香奈子

(キャンドル教室 Na*celle ナセル)

色とりどりの「カラフルプレート」、うさぎやクマ、ハートや星の「トッピングパーツ」で作る積み木型キャンドルです。土台となるプレートは、お好きな色で配色、トッピングパーツにはペインティングをして『色遊び&お絵かき』を楽しみながら作って頂きます。カラフルな色と可愛いパーツがあなたの心をときめかせ、素敵なオリジナルキャンドルの完成です♪

作ることの楽しさはもちろんですが、たくさんのカラフルな色やパーツがずらりと並んでいるのを見てわくわくとした気持ちになったり、癒されたり、元気がでたり、笑顔がこぼれたりします。きっとスペシャルキッズ達とのあそびにも応用してもらえるのではと思います。

ワークショップ 8

スヌーズレン～映像・音・香で演出しよう～

橋本 敦子
(スヌーズレンラボ)

スヌーズレンの環境はお金がかかるから作れない！そう思っていないですか？
今回は、空間の雰囲気を作り出すのに欠かせない3つの要素について体感していただき、明日からでも取り入れられる環境づくりについて考えてみます。

ワークショップ 9

治癒が望めない病気をもつこどもの life を支えるために私たちにできること

余谷 暢之 (国立成育医療研究センター 医師)

治癒が望めない病気をもつこどもたちの生を支えるために私たちに何ができるか。
治癒が望めない病気を持つこどもたちの生活を紹介しながら、その子たちに寄り添うために私たちができることをみんなで考える機会にしたいと思います。
実際活動されている方も、これから活動を始めたいと考えている方も、何かできることを一緒に考えてみませんか。
もしかしたらこのワークを通じて新たな活動が生まれるかもしれません。